

## WITH11 月号校友会記事

### 千葉大生に向けて

さて、今回は大学側からインタビューの依頼を受け、校友会の取材に行ってきました 「大学の取材とか固くてつまらなそう…」と思ったそのあなた！！今回の特集はそこまで堅苦しいものじゃありません！

私たちはこの千葉大学で授業を受け、生活しています。でも、大学側が普段学生をどう思っているのかなんて、わかりませんよね？大学の職員さん・学部教授・千葉大を卒業したOBOGの方々が私たち学生のことをどう思っているかは、なかなか知る機会がないことだと思います。今回は大学主催の同窓会である校友会を通して、大学や教授が学生に何を求めているかについて迫ってきました ぜひ読んでみてください(\*^\_^\*)

### 校友会について

今回 WITH が取材したのは、校友会の総会と懇親会です。校友会とは、千葉大学が主催している学部の同窓会の連合体=千葉大全体の同窓会です！千葉大 OBOG をつなぐ存在として、4年前にできました。会員の方にはちばぎんの取締役や食品会社、製薬会社の上層部の方など錚々たる面々!!会員の SNS を作るなど今後はさらに活動を活性化させて、卒業後も大学のつながりを残していくことが目標なのだそうです。ちなみに私たちは在学学生は自動的に準会員らしいです。

総会では来年度の予算案の審議や講演などが行われました。

### 講演

千葉大医学部の OB の寺澤捷年先生が、東洋と西洋の医療の違い、関係について講演されました。「宮廷女官チャングムの誓い」の監修をされていた方でした。ちなみに医学部関係では「チーム・バチスタの栄光」を書いた海堂 尊先生も千葉大医学部出身なのだそうです！これすごくないですか！？

次に、千葉市の地震対策も行っている、院教授の中井正一先生がいらっしゃいました。なんと！！近い将来必ず東海大地震は起こるそうです(;O;)千葉市の地盤の関係だと、美浜区が最も危険で、次に中央区、稲毛区などが続くそうです。一人暮らしだと見落としがちな地震対策...やらないと大変なことになるかもですね。寮住まいの私は寮が地震に耐えられなそうなのがとても心配です(´・`・`)講演は一般公開もされていて、サークルの合間に学生もちらほら聞きに来ていました。

### サークル発表

演会終了後、ジャグリングサークル「ポッサム」と、亥鼻チアサークルの「舞部」が発表を行いました！どちらも大祭が楽しみになる素敵な発表でした

## OBOG から学生へ

総会后、懇親会が一食で行われたので、千葉大の教授・OBOG の方々にインタビューを行いました！ずばり！！【今の千葉大生には何が足りない？何を求める？】と伺ってきました。なかなか厳しいお言葉ばかりです。

- ・ 「教えてもらう」という受動的な姿勢が甘い。自発的に行動することが大事。
- ・ 千葉大生は質問・発言が東京の大学と比べてほとんどない。聞くことと言ったら「成績はどうやって？」くらいだ。そんなことじゃなくて、【自分がどんなふうによつてくか】という意志をもって勉強してほしい！
- ・ 最近の学生は体力がない。休んじゃったら、体調不良もふざけてキャンセルするのでも一緒だからねー。もう少し食べたならそれが考える力とか体力にもなるんじゃないかな？
- ・ とりあえずコピペはバレてます。
- ・ 漢字が読めなすぎる！新聞とってくれ！！
- ・ 高校までとは違って、大学生に「教科書」はない！！あるのは「参考書」だけ。つまり、参考書を読んでその中のどこが賛成でどこは違うと思うのか考えることが大事だ。

もっとたくさんのメッセージをいただきましたが、ここに載せることができませんでした。厳しい意見が多かったのですが、どの先生も「千葉大の学生は優秀なのに、それではもったいない！」と悔しがられていました。確かに授業の雰囲気はそんな感じですよな（´・`）ちなみに女の人より男の人が大人しいとのことでした。

## 大学から学生へ

### 底力掲示板

OBOG・先生たちはわかったけど、結局大学側は学生に何をしてほしいのー？というところでこちらを紹介します！！

ライセン前に底力掲示板が張ってあるのを知っていますか？ここにはOBOGの方から在校生へのメッセージがたくさん載っています。現在3回更新されているこの掲示板は、大学が、このメッセージが在校生の良い刺激になればと設けたものです。また、ここにある意見箱から大学への要望を伝えることができます！

大学は学生の生の声をなかなか聞く機会がありません。もっともっと学生の声を求めています！！小さなことでも、試しに書いてみたらどうでしょう？ちなみに私は南門の自転車置き場をもっと増やしてほしい！と寮を建て直してほしい！を書きました(笑)こんな身近なことでも大歓迎とのことですよ！

いかがでしたか？大学・教授・OBOGの方々が私たちをどう思ってるか、何をしてほしい

のかについて少しは伝えることができたでしょうか？彼らは私たちが考えている以上に私たちのことを考えてくれているんですね。今回の特集でそのことに少しでも気づいてもらえたら嬉しいです。